



ロータリー：変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

RI会長 イアンH. S. ライズリー

第 2324 号 2018 年 1 月 23 日

No. 25

例会日：毎週火曜日 12:30～13:30
例会場：岐阜都ホテル TEL.295-3100
事務所：岐阜商工会議所 TEL.264-9235

会長：渡部 勝裕 会長エレクト：渡辺 敏昭
副会長：豊田 雅孝 幹事：廣川 重幸
会報委員長：平井 繁利

- ＜四つのテスト＞
1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか

W E E K L Y B U L L E T I N

本日のプログラム	
1月23日(火) 第 2324 例会	
青少年育成者 感謝状贈呈	
担当 青少年奉仕・インターアクト	

次例会の予定	
1月30日(火) 第 2325 例会	
節分夜間例会	
点鐘 5:30	
場所 ホテル グランヴェール岐山	
担当 出席・親睦活動・ニコニコBOX	

＜ 前 回 の 記 録 ＞

会 長 挨拶 会長 渡部 勝裕



みなさん、こんにちは。私の所有しているCDでNo.1に推奨するアルバムは、エリック・クラプトンのベスト・オブです。彼は魅了されるボーカルと「スローハンド」のニックネームで呼ばれるギターの名手です。パートナーの女性を褒め称える「ワンダフルナイト」は、私のお気に入り曲です。

今月は職業奉仕月間です。弊社、大東株式会社の環境創りの基本は、社員1人ひとりが、自分は尊重されていると思える環境を整える事です。その為に社員全員と毎年1～2時間、個別面談を実施し年度毎にスローガンを提唱しています。今日は昨年度のスローガン、心理学者エリック・バーンの名言「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる。」を紹介し、過ぎ去った過去は変えられません。変えられない他人や過去の出来事で悩むより自分を変える。自分の未来を変える事に目を向ける事です。心を病んだ人の治療は他人や過去を受け入れる事です。人を変えようと思う事、誰かに変わって欲しいと思う事は、自分の価値観を押し付けて自分を変えたくないという事です。他人に未来の変化を求めるには自分が変われば相手も変わる。「鏡の法則」(鏡の中の姿、存在が相手から見た自分)。まず自分を知る事を実行し、相手に直ぐには結論を求めない事です。自分と未来を変えるには、①過去の出来事の意味付けを変える陽転思考、終わった過去をどう捉えるかは未来の自分次第です。たとえ事故で片足を失っても片足が無いだけだと思えるか、身障者として生きるか。思い方の違いです。そして、②良い行動習慣(挨拶、ありがとう、感謝、スティープン・R. コヴィーの7つの習慣。凡事徹底、新聞を読む、ニュースを見る、本を読むなど)を身に付け、その一つ一つを継続する事。この2点の実行で各自の未来は必ず良くなると1年間言い続けました。

職場の環境改善には終りの無い、長い年月が必要です。

お 客 様

松原 巧弥 様 (大東㈱)

安藤 拓司 様 (はせがわ接骨院)

出 席 報 告 委員長 安田 達雄

会員総数 50名 / 出席免除者 10名 / 本日の出席者 34名 / 本日の出席率 73.91%

優良従業員表彰

松原 巧弥様（大東株）



私、大東株式会社松原巧弥と申します。

本日は、私の為にこのように盛大な表彰の場を催していただき、心より光栄に存じます。加えて推薦していただいた社長にはこの場をお借りして深く感謝申し上げます。まことにありがたく、大東株式会社社員を代表いたしまして厚くお礼を申し上げます。

建築工事の設備現場担当を今でこそ熟練とは申し上げても、入社以来大して会社のお役に立ててきたかなと疑問に思うところもあります。いたずらに年齢を重ね気づけば中堅社員となり、管理職の末席となり、現在に至っています。

サラリーマンとしては、大難を小難、小難を無難にと日々の仕事、職務を全うしてまいりました。その帰結として、本日このような場所に立たせていただいていることに喜びと

誇りを感じております。

私が、工務部に配属されましたのは、今から17年前であります。その時は右も左もわからず、先輩諸氏のあとをついてゆくの精一杯でございました。度重なる失敗を諸先輩方にフォローしてもらいながら今日まで来ました。

工事現場は、毎朝8:00より現場にて安全朝礼を行っております。日々変化していく工事現場の状況を、その日の作業内容に合わせて危険予知活動を行います。

例えば、土工事の段階では、大きな建設機械との接触事故や、地崩れ崩壊の恐れを予知したり、高層ビル等で足場作業がある場合では、転落事故や落下事故の恐れを予知します。最近では、夏場の熱中症予防、冬場のインフルエンザの予防など衛生面も含めて、毎朝、担当者が作業員の顔色を見て健康状態を確認し現場に送り出します。

危険予知活動は、私が入社して一番重きを置いて取り組んできた事で、先には、工事現場の安全について触れましたが、自分の職務内容においても『先を読む』という点で危険予知を行っています。『この失敗の後には、この連鎖反応』『この結果の後には・・・』職務の経験を積む中での経験、失敗の数や失敗の大きさを他人よりもいつそう大きく意識した結果が、私に『先を読む』力を与えてくれていると思います。私自身の成長を見守り、促してくださった諸先輩がたや会社の力でのフォロー、バックアップがあったからこそです。

『失敗を恐れず』とは、よく言いますが実際には失敗が起きてからの処理やクレーム対応は、かなりキツイ内容になります。事前に私から上司に報告、連絡、相談があれば未然に防ぐことができた事例内容もたくさんあったにも関わらず、『本人が自分で判断し決断して進まない人は成長しないよ。』とアドバイスをくださり、正直未経験な事などに積極的に挑戦させていただきました。その都度もれなく失敗によるクレーム処理を抱え込んでいますが、これは先輩たち同様に後輩たちを指導していくうえでは大変役に立っています。私が授かった『先を読む』力は、後輩たちの失敗を予測しているのです。

仕事を進め、覚えていく段階では当然起こりうる失敗で、落ち込ませたり、自信喪失させたりで、足を止める。叱りつけたり、文句を言われたり先輩や同僚に迷惑をかけて塞ぎ込んだり、変に隠蔽しようとする。そんなことが無いように後輩たちを責めるより、『先を読む』力を使って、共に解決に向けて知恵を出し合い最善の策を練ったり、何かしらの解決案の引出しを用意しフォローしてあげた方が、良いのではと私は考えます。

危険予知で未然に防ぐ体の安全と、予知することによって失敗を最小限に食い止め、さらに成長につなげるよう努力しています。

話は変わり、工事現場に担当者として12年携わったのち、最近5年間は購買部兼品質管理部としての仕事に従事しています。

品質管理部としては、各部門の帳票類（書類）の不備が無いか、各部門間の回覧連携を監視しております。あと、後ほど触れますが、最近では人事部っぽい内容の仕事にも携わっています。

購買部としては、所属していた設備部（営業、工務部）の原価の管理を行っています。簡単に説明しますと、機器類、資材、工賃の発注を行い会社に利益を残す業務です。当社の技術者、技術力を高く売り、機器、資材をいかに安く調達するかの駆け引きを日々行っています。

機器や、資材を安く購入する際には、過去の実績や年間の売り上げ貢献等で、掛け率や仕入れ値の底値は掴むことにより対応していますが、発送を転換して『技術力を高く売る』ということの説明させていただきます。

工事現場の担当者として要求され高く評価されるのは、豊富な専門知識や技量よりもコミュニケーション能力です。日々変化する工事現場の中で設備工事は、工事物件の起工式から竣工式まで又、アフターサービスまで携わっていきます。スポット的に物を納めたりするわけではなく他職種との連携が必要な業種です。設備工事の専門知識を生かすために、まず、コミュニケーション能力を発揮しなければなりません。他職種とのコミュニケーションが上手くとれる担当者は、当然当社の協力業者からも慕われ上手く工事の工程に沿って段取りしていきま

す。その技術力を私は高く売り、協力業者への発注金額を抑え施工費を安く調達し経費、利益に還元しています。

購買部の仕事は、『人と人を繋げる』仕事だと思い従事しています。仕入れ値が同じ、条件が同じであれば、やはり私個人の好き嫌いではなく、当社現場担当と、販売店の営業マンや、サービスマンとの相性をみます。

協力業者に工事をお願いする場合も同じく、下請けさんの社長や従業員、職人さんとの相性を、やはり一番考えて組み合わせをしています。好相性であれば、発注金額を抑える一つのツールに使えています。

『人と人を繋げる』仕事だからと割り切っていないといけない部分が大半を占める中で、私が従事している業務は、唯一それができる部署です。私自身、人の好き嫌いが無いわけでは当然ありません。むしろ、すぐ態度や顔に出てしまう程かと認識しています。

この世の中、生みの親を選ぶことはできません。裕福な家庭に生まれるか、貧しくても暖かい家庭に生まれるかなんて、物心が付いてからしか認識を持てません。就職して最初につく上司も同じく選ぶことができないのも同様です。常に他人を羨ましく思ったり嫉んだりの繰り返しばかりしている人が大半だと思います。

人事部っぽい仕事もしていると、先に申し上げましたが、今僕が周囲から期待されべき役割というのは、社内の人間関係のバランスだと思っています。新入社員の相談や、若手社員の自立支援を各部署の直属上司目線から行う指導や叱責ではなく、彼らの傍らに立つ後方支援も自分の仕事だと思っています。目線を下げ対等な物腰で話を聞いてあげたり諭したりしています。大難を小難、小難を無難にと物事が、大きくなる前に間に入ってコミュニケーションを円滑に取れるように促してトラブルの未然防止に繋がるようにしてあげています。

技術者として失敗をしても積み重ねることができるスキルと、一度失敗すると取り返しのつかない人間関係。このどちらにも常に危険予知活動『先を読む』力を用いて『人と人を繋げる』仕事を全うしていきたいと思えます。

それが、今までお世話になった方々へのご厚情に報いることであり、会社の期待に応える方法だと信じています。

本日は、誠にありがとうございました。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

安藤 拓司 様 (はせがわ接骨院)

只今ご紹介に預かりました、はせがわ接骨院の安藤拓司です。本日はこのような受彰の機会を頂きました事は、会員皆様方をはじめ長谷川院長の深いご厚情の賜物であると存じます。厚く御礼申し上げます。

長谷川院長との付き合いは30年以上になりますが、従業員として拾っていただけてからは15年になります。その間、2つのモットーを持って仕事に取り組んでまいりました。1つは余り目立たず黒子になり、院長をサポートする。そしてもう1つは患者様の声を聞き、自分の持てる力で全力で治療に当ることです。しかしながら、力不足にて失敗する事も多々あった事と思います。この場を借りて院長にお詫び申し上げます。今後は本日の表彰を励みにし、一層精進してまいります。

最後になりましたが、当会の増々の発展と会員皆様方のご健勝を祈念し御礼の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



山田章治君 秋川さん、お久しぶりです。ロータリーを楽しんで下さい。

渡部勝裕会長、廣川重幸幹事、職業奉仕委員会一同 安藤拓司様、松原巧弥様、本日は優良従業員表彰おめでとうございます。ごゆっくりお楽しみ下さい。

長谷川隆志君 本日は従業員表彰に当院の安藤拓司を推薦させて頂きました。宜しくお願い致します。

浦田益之君、不破達生君、小林俊夫君 岐阜東RCが長年にわたりバックアップしています、更生保護法人「洗心之家」に対して、平成29年12月27日に天皇誕生日に際して御下賜金が下賜され、伝達式が行われました。昨年は、全国の8団体に贈られ、「洗心之家」が受けるのは平成14年に続き二度目となります。大変名誉な事です。現在、岐阜東RCは洗心之家の大きな後ろ盾となっています。こうした中での、御下賜金は会員の皆様の長年にわたる御支援の賜物です。心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

ポール・ハリス・フェロー表彰（2017～2018年度）



安江 利之 会員